

2020年度 第5回 WEBアンケート 調査報告書

1 「スポーツ施策」

市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課

2 「身近な水環境」

環境局環境保全部環境保全課

3 「生活困窮者施策」

保健福祉局保護課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果	ページ
・ 「スポーツ施策」 1
・ 「身近な水環境」 3
・ 「生活困窮者施策」 4
・ その他 7

回答者属性

回答者数	1015人
------	-------

性別		
男	468	46.1%
女	510	50.2%
その他	2	0.2%
未回答	35	3.4%

職業		
会社員	349	34.4%
自営・自由業	45	4.4%
パート・アルバイト	162	16.0%
公務員	55	5.4%
学生	39	3.8%
専業主婦・主夫	179	17.6%
無職	152	15.0%
その他	34	3.3%

年代		
～10代	30	3.0%
20代	50	4.9%
30代	136	13.4%
40代	271	26.7%
50代	238	23.4%
60代	149	14.7%
70代以上	141	13.9%

居住区		
中央区	218	21.5%
花見川区	145	14.3%
稲毛区	162	16.0%
若葉区	110	10.8%
緑区	131	12.9%
美浜区	221	21.8%
市外	28	2.8%

2020年度 第5回

調査名	「スポーツ施策」「身近な水環境」「生活困窮者施策」
調査期間	2020年8月1日(土)午前10時～同月10日(月)午後5時
回答者数	1015人

※割合(%)は、小数点第2位以下四捨五入のため、割合の合計が100%にならない場合があります。
 ※複数回答の割合(%)は、各設問の対象者数を基数(n)としているため、割合の合計が100%を超える場合があります。

概要:

<p>1「スポーツ施策」 市民のスポーツ活動の実態やニーズをお聞かせいただき、今後のスポーツ施策の参考にさせていただきます。</p> <p>2「身近な水環境」 身近な水環境※に対する意識や考えをお聞かせいただき、千葉市水環境保全計画の推進状況を把握する指標の一つとして活用いたします。 ※川や海、湧き水など</p> <p>3「生活困窮者施策」 生活に困りごと※を抱えている方を支援するため、「第2期千葉市貧困対策アクションプラン」を策定します。皆さまのご意見をお聞かせいただき、今後の施策の参考にさせていただきます。 ※経済的なこと、身体・メンタルヘルスのこと、社会・家庭生活のことなど。</p>
--

参考URL

https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/mizu.html
https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/hogo/konkkyuushapr.html

Q1: はじめに、「スポーツ施策」についてお聞きします。

この1年間に運動・スポーツ※を行った回数ほどのくらいですか。
 ※ルールに基づいて勝敗や記録を競う運動やスポーツだけではなく、10分程度の散歩やラジオ体操など、健康づくりのために、目的を持って自主的に行う身体活動を広く含めます。
 (1つだけ)(入力必須) [n=1015]

週に5日以上	190	18.7%
週に3日、4日	144	14.2%
週に2日	128	12.6%
週に1日	123	12.1%
月に1～3日	109	10.7%
3か月に1、2日	49	4.8%
年に1～3日	36	3.5%
ほとんど行っていない	236	23.3%

Q2: より多くスポーツを行うために必要だと思うことはなんですか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1015]

一緒に行く仲間や家族	502	49.5%
身近で気軽に安く使える施設	701	69.1%
家でできるようなスポーツ	334	32.9%
きっかけ(イベントなど)	378	37.2%
スポーツの楽しさを教えてくれる人	218	21.5%
スポーツの技術を教えてくれる人	158	15.6%
その他	66	6.5%

Q3: この1年間にスポーツを観戦したことがありますか。

(1つだけ)(入力必須)	[n=1015]	
観戦した(直接現地で)	196	19.3%
観戦した(TVやインターネットで)	426	42.0%
観戦した(直接現地と、TVやインターネットの両方で)	85	8.4%
観戦はしなかった	308	30.3%

Q4: プロスポーツ選手と市民との交流を深めるため、市にはどのようなことに取り組んでほしいですか。

(3つまで)(入力必須)	[n=1015]	
交流できるイベントの開催	502	49.5%
試合などの市内誘致	331	32.6%
試合などへのボランティア支援	126	12.4%
選手が講師となったスポーツ教室の開催	256	25.2%
選手の学校訪問	269	26.5%
選手の地域イベントへの参加	250	24.6%
観戦の優待券発行	540	53.2%
その他	8	0.8%
特になし	105	10.3%

Q5: 市にはスポーツに関するどのような情報を提供してほしいですか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1015]	
とにかく楽しく体を動かせるメニューの紹介	392	38.6%
大会・イベントの情報	436	43.0%
スポーツ教室の情報	355	35.0%
クラブ・サークル団体の情報	266	26.2%
施設の利用に関する情報	488	48.1%
健康・体力づくりに関する情報	429	42.3%
千葉県ゆかりのチーム・選手の紹介	232	22.9%
特になし	63	6.2%

Q6: 誰と運動・スポーツを楽しみたいですか。

(2つまで)(入力必須)	[n=1015]	
友達	403	39.7%
子ども	353	34.8%
一人	336	33.1%
夫婦(恋人)	369	36.4%
スポーツ教室等で様々な人と楽しみたい	189	18.6%
特になし	72	7.1%

Q7: 新型コロナウイルスの影響下において、どのような形で体を動かしたいと思いますか。

(いくつでも)(入力必須)	[n=1015]	
家でできるメニューで体を動かしたい	619	61.0%
家の近所でランニングをしたい	282	27.8%
近所の公園でストレッチなど軽いメニューで体を動かしたい	391	38.5%
スポーツクラブや市の屋内施設で運動したい	239	23.5%
屋外のグラウンド等でスポーツをしたい	199	19.6%
特になし	70	6.9%

Q8: 次に、「身近な水環境」についてお聞きします。

本市で一番身近(親しみ)に感じる水環境は何ですか。
(いくつでも)(入力必須)

[n=1015]

生実川	31	3.1%
勝田川	9	0.9%
鹿島川	20	2.0%
坂月川	48	4.7%
支川都川	41	4.0%
花園川(草野水路)	67	6.6%
花見川	340	33.5%
浜田川	42	4.1%
浜野川	21	2.1%
都川	155	15.3%
村田川	57	5.6%
葭川	67	6.6%
いなげの浜	404	39.8%
検見川の浜	222	21.9%
蘇我地区の海辺	70	6.9%
千葉港	302	29.8%
幕張の浜	273	26.9%
湧き水	23	2.3%
大百池	84	8.3%
大藪池	6	0.6%
生実池	109	10.7%
特にない	105	10.3%
その他() ※7ページ参照	35	3.4%

Q9: 身近な水環境にふれあう機会(水辺の散歩、水辺での生きもの観察など)の頻度はどれぐらいですか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1015]

毎日	28	2.8%
週に3回以上	44	4.3%
週に1、2回程度	99	9.8%
月に数回程度	189	18.6%
年に数回程度	287	28.3%
ほとんどない	368	36.3%

Q10: 身近な水環境はきれいだと感じますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1015]

感じる	40	3.9%
どちらかといえば感じる	288	28.4%
どちらかといえば感じない	435	42.9%
感じない	252	24.8%

Q11: 身近な川や海、湧き水などに生育・生息する生きものは多いと感じますか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1015]

感じる	44	4.3%
どちらかといえば感じる	309	30.4%
どちらかといえば感じない	456	44.9%
感じない	206	20.3%

Q12: 本市の水環境に関する問題で、一番気になることは何ですか。

[選択肢補足]

※「谷津田」とは、台地・丘陵地との間の浅い谷で、湧水を利用して営まれる水田のことを言います。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1015]

雨が短時間で集中的に降るようになった	345	34.0%
雨の時に道路や宅地などに大きな水たまりができる	217	21.4%
雨の時に川の水かさが急に増える	59	5.8%
地下水が汚れている	7	0.7%
湧き水が少ない	37	3.6%
湿地・湿原(谷津田※を含む)が少ない	24	2.4%
地下水の量が減っている	4	0.4%
汚く感じる	138	13.6%
匂いが気になる	70	6.9%
特にない	89	8.8%
その他() ※8ページ参照	25	2.5%

Q13: 本市では、谷津田に様々な動植物が生息していることから、谷津田を保全する取組みを行っていますが、知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1015]

知っていた	358	35.3%
知らなかった	657	64.7%

Q14: 水環境を良くするために、あなたができることは何ですか。

[選択肢補足]

※1かん養域とは、地面をコンクリートで覆わないことにより、雨水が土壤に浸透し地下水が補給される場所のことを言います。

※2雨水浸透施設とは、屋根に降った雨を集めた「ます」や「排水管」の側面などに穴が空いていて、そこから雨水を地中に浸透させるものです。

(3つまで)(入力必須)

[n=1015]

節水	631	62.2%
排水の汚染対策	585	57.6%
雨水利用	174	17.1%
水辺でのごみ拾い	240	23.6%
かん養域※1の確保	70	6.9%
雨水浸透施設※2の設置	81	8.0%
谷津田保全活動(刈払いや用水路の整備など)への参加	48	4.7%
生き物調査活動(水辺に住む水生生物や水質の調査など)への参加	82	8.1%
特にない	63	6.2%
その他() ※9ページ参照	7	0.7%

Q15: 最後に、「生活困窮者施策」についてお聞きます。

本市では、生活の立て直しをお手伝いする機関として「千葉市生活自立・仕事相談センター」を設置していますが、知っていましたか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=1015]

名称・業務ともに知っている	82	8.1%
名称は聞いたことがあるが、業務は知らない	160	15.8%
千葉市に困窮者支援の窓口があることは知っている	192	18.9%
名称・業務ともに知らない	581	57.2%

Q16: いま、あなたは生活の困りごとを抱えていますか。抱えている場合、どのような困りごとですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1015]

抱えていない	566	55.8%
抱えている(お金のこと(収入が少ない、借金など))	200	19.7%
抱えている(住む場所のこと)	62	6.1%
抱えている(人に関係すること)	114	11.2%
抱えている(仕事に関係すること)	131	12.9%
抱えている(病気・けがに関係すること)	140	13.8%
抱えている(子どものこと)	106	10.4%
抱えている(社会に馴染めない)	30	3.0%
抱えている(その他)	59	5.8%

Q17: 市では生活に困りごとを抱えている方を支援する相談窓口を設けています。あなたが生活の困りごとを抱え、相談をする場合、どのような方法で相談をしますか。
(いくつでも)(入力必須) [n=1015]

窓口 to 直接行く	462	45.5%
電話	409	40.3%
Eメール	367	36.2%
SNS(LINEなど)	200	19.7%
その他	21	2.1%
相談しない	188	18.5%

Q18: あなたの周りに生活に困りごとを抱えている方はいますか。いる場合、その方とはどのような関係ですか。
(いくつでも)(入力必須) [n=1015]

いる(家族・親戚)	163	16.1%
いる(友人)	45	4.4%
いる(近隣住民)	40	3.9%
いる(上司・同僚)	13	1.3%
いる(名前などはわからないがときどき見かける)	51	5.0%
いる(その他)	26	2.6%
いない →Q20へ	677	66.7%

Q19: 問18で「いる」と回答した方にお聞きします。その方の困りごとは何ですか。

(いくつでも) [n=338]

お金のこと(収入が少ない、借金など)	147	43.5%
住む場所のこと(住む場所がない・なくなりそうなど)	48	14.2%
家のこと(空き家・修繕が必要な状態など)	43	12.7%
仕事に関係すること	97	28.7%
病気・けがに関係すること	123	36.4%
障害に関係すること	61	18.0%
子どもに関係すること	52	15.4%
社会に馴染めない	38	11.2%
ペット・動物に関係すること	20	5.9%
その他	37	10.9%

Q20: 困りごとを抱えている方が身近にいた場合、あなたはどのような支援ができると思いますか。

(いくつでも)(入力必須) [n=1015]

相談機関・支援機関の情報を教える	522	51.4%
相談機関・支援機関に連絡し、対象者への支援をうながす	220	21.7%
自らが主体となって支援する	61	6.0%
見守る・話を聞く	645	63.5%
寄付する・募金する	53	5.2%
金銭的援助をする	34	3.3%
その他	13	1.3%
支援できない	116	11.4%

Q21: 問20で支援できないと回答した方にお聞きします。支援できない理由を教えてください。

(いくつでも) [n=116]

支援する方法がわからない(どのような相談機関・支援機関があるのか知らない)	37	31.9%
自分のことは自分で解決すべきだと思う	18	15.5%
自分に支援する余裕がない	79	68.1%
普段から付き合う機会がない	28	24.1%
いつか誰かが支援すると思う	4	3.4%
その他() ※9ページ参照	15	12.9%

Q22: 生活に困りごとを抱えている方は、さまざま理由で相談支援機関に繋がらないという問題を抱えています。この問題を解決するために市としてどのように対応する必要がありますか。

(1つまで)(入力必須)

[n=1015]

相談方法の拡大(LINEなどSNS)	225	22.2%
相談方法の拡大(Zoomなどによるテレビ電話相談)	36	3.5%
周知の強化(HP)	49	4.8%
周知の強化(SNS)	59	5.8%
周知の強化(市政だより)	152	15.0%
身近な場所に相談窓口の設置	257	25.3%
地域活動(町内自治会活動など)の活性化	92	9.1%
分からない・特にない	105	10.3%
その他() ※10ページ参照	40	3.9%

選択肢:その他()

Q8: 本市で一番身近(親しみ)に感じる水環境は何ですか。

・ 千葉公園の池(3件)
・ 泉谷公園(2件)
・ 近くに草の水路があるが、味気のない川(単なる水路)となっている。何とか親水を感じる川に変えられないのか。
・ 幕張海岸の公園は時々通ったが、子供の遊具などが撤去され、行かなくなった。
・ 美浜区打瀬スポーツ公園の池と一丁目公園の小さな小川。
・ 泉谷公園から大百池に向かって流れる水路。
・ 青葉の森公園(夏場限定の噴水エリア)。
・ 名前と場所がわからない、一致しない。
・ 今年引っ越したばかりで分からない。
・ 泉自然公園の池、青葉の森公園の池
・ 園生町の水路、名前がわからない。
・ 青葉ヶ池(青葉の森公園内)
・ 原町谷津、その他の谷津田
・ 自宅のお風呂、キッチン
・ 泉谷公園、おゆみ道の川
・ 千葉市立高校前の水路
・ 谷津田の生き物の里
・ 和の森の池、湿地帯
・ 昭和の森、創造の森
・ 昭和の森しもんた池
・ こてはし台調整池
・ 六方調整池
・ 泉自然公園
・ 九十九里浜
・ 見浜園の池
・ 草野水路
・ 六方公園
・ 草野水路
・ 下夕田池
・ 昭和の森
・ 下夕田池
・ 印旛沼

Q12: 本市の水環境に関する問題で、一番気になることは何ですか。

<p>歩道のアスファルトは木の根っこで凸凹なところが多く、水たまりができやすい。(余談だが、台車を押して歩くとよくわかるが、ただでさえ点字ブロックで段差が多かつまづきやすいのと、車道から歩道に上がる時のブロックも数センチでも段差は段差なのでフラットにして欲しい。よく水たまりや落ち葉だまりもできている)稲毛の砂浜が綺麗になったのはすごく良かったと思う。この砂はどこからどうやって運んでくるのかなどの水辺の勉強会を兼ねたガイドツアーなどが『金曜に』(平日に)あればいいかな。</p>
<p>最近日本列島が亜熱帯化したのか、短時間で降る《豪雨》が頻発しています。多分、本市の下水道や道路排水は、降雨強度30mm/h～50mm/h設定して設計し敷設していると思われませんが、最近の地球環境の変化に併せますと、やっぱり降雨強度100mm/hに考え方・思想を変換しなくてはならないのではないのでしょうか。資金は勿論、施工も想像を絶する困難が伴うでしょうが、姿勢として千葉市が率先して示すべきではないのでしょうか。</p>
<p>自宅には上水道がきておらず井戸水を使わざるを得ないが、近所でヒ素が出たとも聞くと、周辺農家やゴルフ場で農業を使っているのがとても気になる。井戸のポンプ交換工事のあとだからかもしれないが、実際にうちの蛇口から出る水は水質検査の結果、一般細菌が基準値の100に対して11000、1900という数値が出て、非常に困っている。</p>
<p>川の護岸や公園の整備によって治水に関しては良くなったと思う。しかしおかげで生き物がいなくなった。生き物と触れ合う場所がなくなった。昔はその辺の川や池で釣りやメダカ、ドジョウとりなどできたが今はどこの池も釣り禁止、川は護岸。どうかしてほしい。もっと子供と一緒に自然や生き物と触れ合えるようにしてほしい。</p>
<p>千葉市には素晴らしい水辺がたくさんあるのに一般市民が利用しやすい環境が整っていない。海外の例を参考にもっと水辺のにぎわいを創出する施策を検討して欲しい。</p>
<p>内陸部、特に住宅地から離れた産廃処理施設は全て海岸地域に強制移動させて欲しい。適切に管理されていない産廃処理施設が多く、地下水の有毒化が懸念される。</p>
<p>千葉大学医学部及び付属病院が次々に建物、駐車場を増設し、舗装地が殆どとなったため、大雨が降ると殆ど全て亀岡町に流れ込み、浸水を惹起することになる。</p>
<p>自分自身学生時代に都川の環境に関するボランティアを行っていましたが川の汚染について関心が少なく手入れが行き届いていないと感じました。</p>
<p>稲毛の浜に白い砂をいれたが、既存の生物や生態系等に悪影響を与えていないかが気になる。</p>
<p>原因不明で水が湧きだしているところがある。今年の雨が多いことからなのか。</p>
<p>そ大雨が降ると家のトイレがボコボコ音がするので逆流してくるか心配。</p>
<p>道路にポイ捨てのごみがとても多く、水資源が汚染されそうで心配。</p>
<p>千葉市に特有の問題ということであれば、特に思い浮かばない。</p>
<p>雨が短時間に大量に降る(降ったり止んだり激しい)。</p>
<p>自宅前の山が雨の時に道路に山の土が流れて来ている。</p>
<p>千葉ポートパークのビーチプラザの海が浅くなった。</p>
<p>葭川に長年自転車等の粗大ごみが放置されている。</p>
<p>雨のとき、千葉中央霊園前かすぐに冠水する。</p>
<p>花見川岸壁が崩れそうに見える所があるが。</p>
<p>河川敷の不法占拠や構造物が気になる。</p>
<p>特定外来種が散見される。</p>
<p>外来生物などが気になる。</p>
<p>排水機能が気になる。</p>
<p>自然が少ない。</p>
<p>水中のごみ。</p>

Q14: 水環境を良くするために、あなたができることは何ですか。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の意識向上。千葉県の公共工事を請け負っている水道工事業者の中には、工事の際に発生した汚泥を側溝へ流している業者がいる。もちろんマニフェスト等は偽装。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識を持つことです。何が原因で水が汚れるか、まず知ることそして、周りに伝える事だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 川にゴミを捨てない為に、もっと簡単・無料で粗大ゴミを出せる仕組みを行政に作ってもらおう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集中豪雨時の集中排水を防ぐ施策、遊水池や地下遊水池の設置など。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併処理浄化槽を利用し、点検・清掃・検査を確実に実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 除草剤や農薬をなるべく使わない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ わからない。

Q21: 困りごとを抱えている方が身近にいた場合、支援できない理由を教えてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響で派遣切りにあい、いまは短期派遣で食いつないでいる。人の支援をする前に自分が倒れてしまう人がごまんと居ると思うが派遣切りなどにあつた人の経済政策は全く聞いたことがない。生活困窮になる前に早急に支援できるような気軽なものがあれば良いと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ こちらが困っているのかも思ってお声掛けをしたとしても、「そんなことないです」と相手側がご立腹なざる場合もあるかもしれないと考えると、個人的にお声掛けする事は恐いためできない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭のことに触れられたくないという意思が強いので、優しさという一方的な支援はできない。支援を受け入れる気持ちになってもらわないと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 困っている人は身近な人には相談したくないと思う。相談したり頼ってくる人は要求がどんどんエスカレートして支援しきれなくなると思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 抽象的に聞かれても答えようがない。内容と難易度による。抽象的、不特定の人への支援は、むしろ、行政の仕事ではないか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 困りごとを抱えている本人が、支援を拒否する(恥ずかしい、思い通りの結果にならない、面倒)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ さすがに、見ず知らずのホームレスの方には、コンタクトすることすら憚られてしまう。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の存在が、相手にとっての悩み事になっていると思うから。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手が必要としているかがわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ より悪くなった時に責任が取れない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 直接頼ってきたらそのときに考える。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 持病があり体調に自信がない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手のニーズがわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く耳を持ってくれない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人だから。

Q22: 生活に困りごとを抱えている方は、さまざま理由で相談支援機関に繋がらないという問題を抱えています。この問題を解決するために市としてどのように対応する必要がありますか。

<p>電話相談などの時間の周知や拡大。家族内にトラブルの原因があった場合、その本人が近くにいる状況で相談できず、耐えてしまったり相談する勇気を行動に移しにくいことがある。</p> <p>また託児があると良い。相談したくても子供がいたら、なかなかできない。一緒に連れてきて良いといっても、子供には聞かせたくない内容であったり、たとえそれが乳児であっても親が困ったり泣いたり眉間にしわを寄せた顔で相談する姿は見せたくない。私はこの理由で、何度か相談ためらいました。電話で相談というのでさえ、子供のそばでやはり聞かせたくないと思ってしま</p>
<p>実際に困りごとを抱えた経験がある者としてのいち意見ですが、困りごとを抱えていると、そもそもの問題ではあるがLINEやその他SNSを確認するためにも金銭的理由や、精神的問題が妨げとなってしまう確認すらできなく感じる。かと言って、そういった方々は、自ら相談するといった選択肢がまず見えない、知ろうとしない(市政だよりなど)し、見る余裕もない状況も考えられる。そのため、相談を受け入れたい側からのアプローチが必要と感じる(保険料等の督促時に一つ書面を封入するなど、困った人がまだ目につきやすい状態をつくる)。</p>
<p>困窮が恥ずかしいとか言っている場合じゃない。また、困窮をバカにすることもしてはならない。勝った負けた、いじめられたくない、皆がやっているからという、日本人の底意地の悪さを直さないと解決できないでしょう。自分で考えて行動できない人が多すぎです。困っているから相談に行く、皆がやってもやりたくないからやらない、そんなことで人は死にません。自分が死を選んだらおしまいです。教育が大事なんですけどね。</p>
<p>生活困難者は元からではなく、コロナや病によって、生活が一変した事例が多いのではないのでしょうか。その場合、本人が公的な支援を受け入れることへの精神的な問題があるのではないのでしょうか。また生活困難者に自分になるとは思ってはいなかったでしょうから、そのような支援策を知らない事例があると思います。いずれにせよ、細かい実態調査(納税の傾向など)を行い、通知と支援を手厚くしてください。</p>
<p>相談機関が支援者にとって解決の援助になっているのでしょうか。支援の機能が充実しているならば、皆さんが利用すると思います。その広がり、人から人へとつながりを持つと思います。相談の窓口と言うだけで、話を聞くだけで終わっていないのでしょうか。周知の強化ではなく、生活改善の実績を出していくことで、相談窓口の周知はおのずと広がると思います。</p>
<p>支援に繋がるようにするのは、情報集めに積極性をさらに取り入れるべきと考えます。例えば、窓口だけでなく、何%かの相談員を色々な場所(臨時相談所を設け)に派遣する。派遣された相談員は、臨時受付に座るだけでなく、その地域を訪問して情報を収集するなどの積極的な方法が必要だと思います。</p>
<p>そもそも利用しづらい。相談内容を人に聞かされたくはないので、相談窓口とはいっても、ついたて等、プライバシーに配慮してほしい。個室は独り身では利用しづらいのでやめてほしい。地域活動を利用すると、すぐに広まるので、利用したくないですね。</p>
<p>例えば、母子家庭は経済的に困窮するケースが多いため、本人の主体的な相談だけでなく行政や学校、関係機関で連携して経済状況を把握しアウトリーチをかける。そして、経済的に困窮しているようであれば、家計管理の支援や就労(増収)を支援する。</p>
<p>公園のトイレやスーパーやショッピングセンターのトイレの壁に連絡先の電話番号のシールを貼る。スーパーの壁だと他の方の視線が気になり見ても連絡先をメモしづらいと思うので、積極的に解決しようとする方は自分で探してHPを見ると思う。</p>
<p>接点の問題ではなく、相談をしても市の窓口で追い返されるのが問題なのではないのでしょうか？それを繰り返し行われると、困っているひとはあきらめて、どうせ何もしてくれないと考えてつながろうとはしないのではないのでしょうか？</p>
<p>相談者は人に言えないような話をしに行くので、相談場所は入りやすく、対応者も親身になってくれるか、お役所仕事の対応では行く気になれないのではないか。また、具体的に相談できる内容を公表して行く目的を認識させる。</p>
<p>相談窓口の担当者の超プロ化に特化すると良いかと思いました。窓口で相談する、という高いハードルを越えた先に、ちゃんと理解が成立していたら同様の苦しみを抱えた方にも積極的に広められるかと思いました。</p>
<p>高度成長期の親に育てられ、パラサイト状態で卒業後も就職せずに、両親も亡くなっていく中高年の引籠りが問題です。小中学校に通っている段階で、両親の「子供たちの自立に向けた」再教育が必要だと思います。</p>
<p>稲毛駅の周辺、パチンコ屋のある側にいつも朝など座り込んでいる老人が何人かいるが、住むところとかないのか？浮浪者の溜まり場のようで、あまり清潔な感じはしない。</p>
<p>新聞もとれない、ネットも繋がらない、そんな環境の方々こそ正に困窮していると思います。就労していない住民を把握し、見守る体制が必要ではと思います。</p>
<p>困っている人ほどそれが助けてもらえる内容だと思っていない。困りごと相談というようなイベント名では自分が対象になるとわからないのではないか。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自助努力で解決できない場合は「相談しても良いんだ」「頼っても良いんだ」「それらは悪いことではないんだ・・・」という気運の醸成・啓発。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 困っていてもSOSを出せない人もいる。本人だけでなく身近な人からの申し出でも場合によっては担当箇所が動けるようになってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそもLINE、HP、SNS等と無縁の方もいます(いわゆる、ホームレス)。街に出て、積極的にコンタクトをとる等でしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 机上の空論でマニュアル化されただけの無意識のうちに差別意識が心にある、実質的な共感力のない人が対応しないようにすること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談方法の拡大。担当者(正規の地方公務員)の数を大幅に増やし、困りごとを抱えている人の所へ直接訪問して、相談を受ける。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ペット(野良猫へのエサやり)問題は、近所の方達が迷惑しているだけで、当事者は問題視していない事が問題だと思えます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ガラケーしかなく、独居の年金なしで暮らしている。大病もあり、預貯金残高の心配ばかりしている。相談に乗ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 困っている事を、誰にも知られたくないと思っている人が多いと思う。発見する方法が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・ ピック病疑惑の高い老人介護で警察か行政かどこに相談してもうまくいかず困ってます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な例えば保健福祉センターの職員(特に非常勤である相談員)の質の向上。
<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシのポスティング。スーパーやホームセンターなどにチラシ貼付。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会に行政の下請けのごとく、何でも任せるべきではない。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 徘徊してる方が多いので、声掛けされてはどうでしょう？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 周知の強化(特化したチラシを各家庭にポスティング)。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りから情報を収集し、電話や訪問で様子を見に行く。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心できるプライバシーの保護システムの提示。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 街角や駅などへのポスターやチラシ配布など。
<ul style="list-style-type: none"> ・ “1つだけ”選べというのは無理がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーにポスター設置。
<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット上の連絡。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民への教育活動。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員の活用。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 匿名性の確保。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 介入する権限。